

4. 2 対外的発表

4. 2. 1 論文など

3. 1. 2

発表者	題名	発表先	発表年月日
Sato, H., N. Hirata, K. Koketsu, ほ か 10 名	Earthquake source fault beneath the Tokyo	<i>Science</i> , 309 (5737), 462-464	平成 17 年 6 月 15 日
佐藤比呂志・ 平田 直・瀬 瀬一起・大都 市圏地殻構造 研究グループ	東京直下の巨大衝上断層のイメ ージング	科学, 75 , 8, 965-970	平成 17 年 7 月
佐藤比呂志	大都市圏地殻構造調査の最近の 成果	なみふる, 51, 2-3	平成 17 年 8 月
佐藤比呂志・ 伊藤潔・平田 直ほか 6 名	大都市圏地殻構造調査・大阪-鈴 鹿測線地殻構造探査について	地球惑星科学関連学会合 同大会、幕張	平成 17 年 5 月 26 日
河村知徳・D. Okaya, 平田 直・佐藤比呂 志	三浦半島とその周辺部における 地殻構造解	地球惑星科学関連学会合 同大会、幕張	平成 17 年 5 月 26 日
佐藤 比呂志	内陸活断層の長期評価と活断層 -震源断層モデルについての調 査・研究の進展	地球惑星科学関連学会合 同大会、幕張	平成 17 年 5 月 25 日
Sato, H., N. Hirata, K. Koketsu, K. Ito, D. Okaya, 他 10 名	Seismic reflection profiling for prediction of strong ground motion in the metropolitan areas, Japan: Results from Tokyo and Osaka	2nd International Workshop on Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas, 東京大学地震研究所	平成 17 年 10 月 25 日
佐藤比呂志・ ほか 7 名	大阪-鈴鹿測線地殻構造探査に 基づく活断層の深部形状につい て	日本地震学会 2005 年秋季 大会、札幌、北海道大学	平成 17 年 10 月 19 日
阿部 進・蔵 下英司・佐藤 比呂志・平田 直・川中 卓	稠密アレイ観測によるレシーバ 関数に関する擬似反射プロファ イリングの適用	日本地震学会 2005 年秋季 大会、札幌、北海道大学	平成 17 年 10 月 19 日

佐藤比呂志・伊藤 潔・平田 直・岩崎貴哉・阿部進・川中卓・井川 猛	大阪-鈴鹿測線地殻構造探査	日本地質学会第 112 年学術大会, 京都大学	平成 17 年 9 月 20 日
Sato, H., N. Kato, K. Ito, S. Abe	Deep geometry of reverse active fault systems in Japan, revealed by seismic reflection profiling	IASPEI, General Assembly 2005, Chile, Santiago	平成 17 年 10 月 4 日
佐藤比呂志・大都市圏地殻構造研究グループ	関東地方のフィリピン海プレート上面の深さ	2005 年活断層成果および堆積平野地下構造調査成果報告会, 駒場エミナース, 東京	平成 17 年 11 月 10 日
Hirata, N., H. Sato ほか 6 名	Configuration of the Philippine Sea Plate Beneath Kanto, Japan	2005 AGU Fall meeting, San Francisco	平成 17 年 12 月 7 日
佐藤 比呂志	首都圏の地殻構造と震源断層	物理探査学会シンポジウム「首都圏の地下構造と地震防災」, 早稲田大学	平成 18 年 1 月 20 日

3.1.4

著者	題名	発表先	発表年月日
五十嵐 俊博	関東地方の相似地震活動	日本地震学会秋季大会	平成 17 年 10 月 20 日
Toshihiro Igarashi and Naoshi Hirata	Crustal structure beneath the Kanto-Koshinetsu region, central Japan inferred from receiver functions	American Geophysical Union Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco	平成 17 年 12 月 9 日

3.1.5

著者	題名	発表先	発表年月日
廣瀬一聖, 伊藤 潔	地殻構造と活断層、地震活動の関係について	京都大学防災研究所研究発表講演会	平成 18 年 2 月 22 日
伊藤 潔, 他 13 名	大都市圏地殻構造調査・近畿圏, 新宮-舞鶴測線	地球惑星科学関連学会 (千葉)	平成 17 年 5 月 25 日
西村和浩, 他 6 名	大大特による紀伊半島自然地震観測, ~観測システムとデータ処理の概要~	地球惑星科学関連学会 (千葉)	平成 17 年 5 月 25 日

Ito et al.	Seismic surveys of structure in the Kinki District, Japan under the special project for earthquake disaster mitigation in urban areas (DAIDAITOKU)	IASPEI(Santiago)	平成 17 年 10 月 3 日
Ito et al.	CRUST AND UPPER MANTLE STRUCTURE IN THE KINKI DISTRICT, SOUTHWEST JAPAN FROM SEISMIC SURVEYS	IASPEI(Santiago)	平成 17 年 10 月 4 日
Hirose, I and K. Ito	Spatial relationship between crustal structure and seismic activity in the Kinki district, South-western Japan	IASPEI(Santiago)	平成 17 年 10 月 3 日
Ito et al.	Deep Seismic Profiling in the Kinki District: Shingu-Maizuru Line	International WS for DAIDAITOKU (東京)	平成 17 年 10 月 25 日
伊藤 潔, 他	近畿圏における大大特プロジェクト I の地下構造調査	京都大学防災研究所年報, 48B, 243-258, 2005	平成 17 年 4 月
廣瀬一聖, 他	大大特・地殻構造探査における関連データのデータベース化と GIS の利用	京都大学防災研究所年報, 48B, 259-268, 2005	平成 17 年 4 月
廣瀬一聖, 伊藤潔	人工地震探査による近畿地方中北部の地殻構造(2): 屈折法探査記録の反射法解析	地震学会秋季講演会 (札幌)	平成 17 年 10 月 20 日
伊藤潔, 他 10 名	新宮-舞鶴測線地殻構造探査に基づく地震波反射面とフィリピン海プレート	地震学会秋季講演会 (札幌)	平成 17 年 10 月 20 日
Hirose, I and K. Ito	Spatial Relationship Between Crustal Structures and Seismic Activities	AGU Fall Meeting (San Francisco)	平成 17 年 12 月 7 日

Ito et al.	Crust and Upper Mantle Structure From Seismic Refraction and Wide-Angle Reflection Surveys and its Relation to Seismic Activity in Southwest Japan	AGU Fall Meeting (San Francisco)	平成 17 年 12 月 7 日
Ito et al.	Controlled-Source Seismic-Surveys of Underground Structures in the Kinki District, Under the Special Project for Disaster Mitigation in Urban Areas (DAIDAITOKU)	APRU/AEARU Research Symposium (京都)	平成 17 年 8 月 31 日

3.1.6

著者	題名	発表先	発表年月日
澁谷拓郎, 伊藤 潔, 大見士朗 他	大大特：紀伊半島における自然地震観測－観測の目的と概要－	京大防災研研究発表講演会	平成 17 年 2 月 22 日
西村和浩, 中尾節郎, 辰己賢一, 他	大大特：紀伊半島における自然地震観測～観測システムとデータ処理の概要～	京大防災研年報, 48, B, 269-277, 2005	平成 17 年 4 月
澁谷拓郎, 伊藤 潔, 大見士朗, 他	レシーバ関数解析による紀伊半島下のフィリピン海プレートのイメージング	京大防災研研究発表講演会	平成 18 年 2 月 22 日
西村和浩, 中尾節郎, 三浦 勉, 他	大大特：近畿地方縦断自然地震観測	京大防災研研究発表講演会	平成 18 年 2 月 22 日

3.2.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Makoto MATSUBARA, Hiroki HAYASHI,	Low-velocity oceanic crusts at the top of the Philippine Sea and Pacific plates beneath the Kanto region, central Japan,	Journal of Geophysical Research, 2005, Vol. 110, B12304, doi:10.1029/2005JB003	2005 年 12 月

Kazushige OBARA and Keiji KASAHARA	imaged by seismic tomography	673	
林広樹・笠原 敬司・木村尚 紀	関東平野の地下に分布する新第 三系基盤岩類	地質学雑誌, 2006年, 第 112巻, 2-13.	2006年1月
高橋雅紀・林 広樹・笠原敬 司・木村尚紀	関東平野西縁の地震波探査記録 の地質学的解釈—とくに吉見変 成岩の露出と利根川構造線の西 方延長—	地質学雑誌, 2006年, 第112巻, 33-52.	2006年1月
高木秀雄・鈴 木宏芳・高橋 雅紀・濱本拓 史・林広樹	関東平野岩槻観測井の基盤岩 類の帰属と中央構造線の位置	地質学雑誌, 2006年, 第 112巻, 53-64.	2006年1月
林広樹・中川 茂樹・笠原敬 司・伊藤谷生	関東平野中央部, 江戸川沿いで 行われたバ イブロサイス反射 法地震探査	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会(千葉 市)	2005年5月 26日
山崎優・松井 智之・小山田 浩子・津久井 雅志・上杉 陽・林広樹・ 柳沢幸夫・田 中裕一郎・笠 原敬司	神奈川県山北町の島弧衝突域に おける大規模陸上掘削の岩石記 載	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会(千葉 市)	2005年5月 24日
林広樹・渡辺 真人・柳沢幸 夫・竹村恵 二・北田奈緒 子・檀原徹・ 関口渉次・笠 原敬司	大阪平野および京都盆地におけ る1000m級陸上掘削の層序	日本地質学会西日本支部 第151回例会(島根大)	2005年6月
林広樹	平野の地下をのぞいてみると	地学団体研究会山陰支部 第2004年度総会(島根 大)	2005年6月
林広樹	山北地域に分布する足柄層群の 浮遊性有孔虫生層序	日本古生物学会 2005年 年会(東京大)	2005年7月
Shoji	Deep drilling at the arc-arc	The 2nd International	2005年10

SEKIGUCHI, Hiroki HAYASHI, Masashi TSUKUI, Yo UESUGI ほ か 11 名	collision zone in the Yamakita area, central Honshu, Japan	Workshop of Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas (Oct-2005, Tokyo, Japan)	月 26 日
Masaki TAKAHASHI , Yukio YANAGISAW A ほか 3 名	Subsurface half-grabens in the Kanto Plain, central Japan, and its effect for long-period strong motion	The 2nd International Workshop of Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas (Oct-2005, Tokyo, Japan)	2005 年 10 月 26 日
林広樹・高橋 雅紀・長谷川 四郎	群馬県富岡地域，碓井川セクシ ョンにおける中新統 原市層の 浮遊性有孔虫生層序	日本古生物学会第 155 回 例会（京都大）	2006 年 2 月

3. 2. 3

著者	題名	発表先	発表年月日
Kimura et al.	Repeating earthquake activities associated with the Philippine Sea plate subduction in the Kanto district, central Japan: a new plate configuration revealed by interplate aseismic slips	Tectonophysics, 417, 101-118	2006 年 1 月
Matsubara et al.	Low-velocity oceanic crust at the top of the Philippine Sea and Pacific plates beneath the Kanto region, central Japan, imaged by seismic tomography	J. Geophys. Res., 110, B12304, doi:10.1029/2005JB003 673	2005 年 12 月
Sekiguchi et al.	Borehole drilling at the arc-arc collision zone in the Yamakita area, central Japan	2 nd International Workshop of Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas ERI, DPRI, NIED and MEXT	2005 年 10 月 26 日

		ERI(Tokyo, Japan)	
--	--	-------------------	--

3.2.4

著者	題名	発表先	発表年月日
Takahashi,M. , Yanagisawa,Y , Kasahara, K., Sekiguchi, H. and Hayashi, H.	Subsurface half-grabens in the Kanto Plain, central Japan and its effect for long-period strong motion	Abstract of 2nd Intern. Workshop, Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas	平成 17 年 10 月
高橋雅紀	日本海拡大時の東北日本弧と西南日本弧の境界	地質学雑誌, Vol.112, pp.14-32.	平成 18 年 1 月
高橋雅紀, 林 広樹, 笠原敬司, 木村尚紀	関東平野西縁の反射法地震探査記録の地質学的解釈—とくに吉見変成岩の露出と利根川構造線の西方延長	地質学雑誌, Vol.112, pp.33-52.	平成 18 年 1 月
高木秀雄, 鈴木宏芳, 高橋雅紀, 濱本拓志, 林 広樹	関東平野岩槻観測井の基盤岩類の帰属と中央構造線の位置	地質学雑誌, Vol.112, pp.53-64.	平成 18 年 1 月
高木秀雄, 高橋雅紀	松伏 SK-1 坑井基盤岩試料からみた関東平野の中央構造線	地質学雑誌, Vol.112, pp.65-71.	平成 18 年 1 月

3.3.2

著者	題名	発表先	発表年月日
加藤直子・佐藤比呂志・今泉俊文ほか 8 名	甲府盆地南縁・曾根丘陵断層帯における浅層反射法地震探査	日本地質学会第 113 年学術大会	平成 18 年 9 月 16-18 日 (予定)
木村治夫・佐藤比呂志ほか 12 名	国府津-松田断層帯松田北断層における浅層反射法地震探査	活断層研究, 25 号	平成 17 年 6 月 30 日
石山達也・佐藤比呂志・他 16 名	大大特 2004・P 波反射法地震探査による鈴鹿山地東縁断層の地下構造	日本地震学会 2005 年秋季大会	平成 17 年

Ishiyama, T., Mueller, K., Sato, H., Togo, M.	Coseismic fault-related folding, growth structure and the historic multi-segment blind thrust earthquake on the basement-involved Yoro thrust, central Japan	Journal of Geophysical Research.	Submitted
--	---	-------------------------------------	-----------

3.3.3

著者	題名	発表先	発表年月日
松岡裕美, 岡村 眞, 千田 昇, 島崎邦彦	大分県南部沿岸地域の湖沼堆積 物に記録された過去3500年間の 巨大津波	第837回地震研究所談話 会	平成18年3 月24日

3.3.4

著者	題名	発表先	発表年月日
Tanioka Y. K. Satake	Analysis of tsunami waveforms for the 1923 great Kanto earthquake	AOGS 2 st Annual meeting 2005,	平成17年7 月23日
鷺谷 威 佐藤比呂志	測地的に見た南関東地域の プレート間カップリングー新 たなプレート境界形状モデル に基づく知見ー	日本地震学会2005年秋季 大会	平成17年 10月21日
山中佳子	震源解析による北海道東部ア スペリティ分布の特徴	日本地震学会2005年秋季 大会	平成17年 10月21日
石川有三	2005,スマトラ超巨大地震と地 震空白域,	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会予稿集 J113	2005年5 月23日
石川有三	2005,スマトラ超巨大地震と地 震空白域	第2回地震サイクルシン ポジウム「ついに起きた 超巨大地震と地震発生の 繰り返し」 東大地震研	2005年6月 6日
YuzoIshikawa, Ranjit Ghose、 Ranjit Ghose	2005, The Sumatra M9 earthquake and the seismicity gaps	AOGS シンガポール	2005年6月 22日
YuzoIshikawa, Ranjit Ghose、 Ranjit Ghose	2005, The Sumatra M9 earthquake and the seismicity gaps	the International Conference on the Sumatran Earthquake	2005年8月 25～27日

		Challenge 2005 8/25-27(26) Padang Sumatra	
Yuzo Ishikawa、 Ranjit Ghose、 Kazuo Oike	2005, The Sumatra M9 earthquake and the seismicity gaps	Kyoto University APRU/AEARU Research Symposium 2005	2005年9月 1日
石川有三	2005,日本周辺のプレート間カ ップリング地帯	日本地震学会 2005年秋季 大会講演予稿集 A097 札幌	2005年10 月21日

3.3.5

著者	題名	発表先	発表年月日
都司嘉宣、 上田和枝、 行谷佑一、 伊藤純一	2006, 元禄十六年十一月二十 三日(1703年12月31日)南関 東地震による東京都の詳細震 度分布	歴史地震 21	出版中
都司嘉宣、 上田和枝、 伊藤純一、 行谷佑一	元禄地震(1703)の詳細震度分 布	第22回歴史地震研究発表 会 東京都墨田区江戸東京博 物館	2005年9 月16日～ 18日
伊藤純一、 都司嘉宣、 上田和枝	元禄十六年(1703)南関東地震 のピンポイント詳細震度分布	日本地震学会 2005年秋季 北海道大学	2005年10 月19日～ 21日
神田克久、武村 雅之	歴史的な地震に対する震度デ ータの活用と問題点	日本地震工学会・大会ー 2005	平成17年 11月21日
神田克久、 武村雅之	2005年8月16日宮城県沖の地 震は何者か?ー震度インバー ジョンに基づく過去の宮城沖 地震との比較	日本地震学会 2005年度秋 季大会	平成17年 10月20日
境有紀	計測震度と被害	地震ジャーナル 39, 25-26	平成17年6 月
境有紀, 小杉慎 司, 大月俊典, 中村友紀子	新潟県中越地震で発生した地 震動と鉄筋コンクリート造建 物の被害	コンクリート工学, Vol. 43 No. 7, 3-9	2005年7月
境有紀, 小杉慎 司	地震概要および発生した地震 動と被害	特集「福岡県西方沖地震 速報」, 建築防災, 2-6	平成17年8 月
境有紀	応答解析から見た地震動の破 壊力	最近の被害地震に学ぶー 地震動特性と地震荷重	2005年9月

		ー, 2005 年度日本建築学会大会 (近畿) 構造部門 (振動) パネルディスカッション資料, 15-18.	
大月俊典, 境有紀	地震被害早期予測プログラムの開発とそれを通じた震度算定法の検証	日本建築学会大会学術講演梗概集構造 II, 605-606	平成 17 年 9 月
小杉慎司, 境有紀	整形な鉄筋コンクリート造建物の耐震性能と損傷度から地震動強さを推定する方法	日本建築学会大会学術講演梗概集構造 II, 615-616	平成 17 年 9 月
境有紀	強震観測点周辺の被害と計測震度の対応性	日本地震工学会大会ー 2005 梗概集, 40-41	平成 17 年 11 月
境有紀, 中村友紀子, 大月俊典, 小杉慎司	2004 年新潟県中越地震で発生した地震動と建物被害の対応性	日本建築学会構造系論文集, 第 601 号, 69-73	平成 18 年 3 月

3.3.6

著者	題名	発表先	発表年月日
久田嘉章	新潟県中越地震の地震動と地盤特性	建築技術	2005 年 5 月
Ide, S. and H. Aochi	Earthquakes as multiscale dynamic rupture with heterogeneous fracture surface energy	Journal of Geophysical Research	2005 年 11 月
Ide, S., G. C. Beroza, and J. J. McGuire	Imaging earthquake source complexity	Seismic Earth: Array Analysis of Broadband Seismograms Geophysical Monograph Series	2005 年 5 月
Yasuda T., Y. Yagi, T. Mikumo, and T. Miyatake	A comparison between D_c' -values obtained from a dynamic rupture model and waveform inversion	Geophysical Research Letters	2005 年 7 月
Suzuki, T. and T. Yamashita	Nonlinear thermoporoelastic effects on dynamic earthquake rupture	Journal of Geophysical Research	2006 年 3 月
安藤亮輔・山下輝夫	断層帯の動的形成過程: マクロスコピック分岐断層とメゾスコピ	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会, 千葉	2005 年 5 月 26 日

	ック分岐断層		
Ando, R. and T. Yamashita	Macroscopic fault structures and macroscopic fracture energy of earthquake ruptures	AGU Chapman Conference, Portland MA (USA)	2005年6月14日
Ando, R. and T. Yamashita	Earthquake Fracture Energy and Dynamic Branching of Faults in Mesoscopic and Macroscopic Scales	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月8日
Fukuyama, E. and T. Mikumo	Radiation energy measured at earthquake source	AGU Chapman Conference, Portland MA (USA)	2005年6月14日
Kimura, T., and T. Miyatake	Relationship Between Characteristics of Dynamic Stress Changes and Rupture Process on a Dipping Fault	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月8日
久田嘉章	統計的震源モデルによる強震動シミュレーション手法の長周期および平行成層地盤への拡張	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005年10月20日
久田嘉章	新潟県中越地震の地震動の特徴, 最近の被害地震に学ぶー地震動特性と地震荷重ー	2005年日本建築学会大会, 大阪	2005年9月1日
Ide, S.	Earthquake as a multi-scale dynamic rupture with heterogeneous fracture surface energy	AGU Chapman Conference, Portland MA (USA)	2005年6月14日
井出哲・青地秀雄	フラクタル面での破壊伝播と地震波動エネルギー放射	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005年10月20日
Ide, S. and H. Aochi	Rupture propagation and seismic energy radiation along fault surfaces of fractal characteristics	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月9日
Kase, Y.	Relationship between dip angle and surface slip distribution	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月8日
木村 武志・引	2004年新潟県中越地震の余	地球惑星科学関連学会	2005年5

間 和人・宮武 隆・安田 拓美・ 額 一起	震に対する本震の動的応力変 化の影響	2005 年合同大会, 千葉	月 26 日
木村 武志・宮武 隆・引間 和人・ 安田 拓美・ 額 一起	2004 年新潟県中越地震の動 的破壊過程	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会, 千葉	2005 年 5 月 26 日
木村 武志・宮 武 隆・引間 和 人・額 一起	2004 年新潟県中越地震の動 的応力変化	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005 年 10 月 20 日
松澤孝紀・武尾 実	摩擦溶融が地震すべりと破壊 過程に及ぼす影響の数値シミュ レーション	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会, 千葉	2005 年 5 月 25 日
Matsuzawa, T. and M. Takeo	Numerical simulation of the interaction between frictional melting and seismic slip in 1D- and 2D-elastic medium	AGU Chapman Conference, Portland MA (USA)	2005 年 6 月 14 日
松澤孝紀・武尾 実・井出哲	マルチパッチの成長を考慮した 摩擦すべりから融解に至る遷移 過程の微視的モデル	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005 年 10 月 20 日
宮武 隆・木村 武志	強震動シミュレーションのための すべり速度時間関数の近似式 (4)2004年新潟県中越地震へ の応用	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会, 千葉	2005 年 5 月 25 日
宮武 隆・木村 武志・安田 拓 美	負の応力降下域と破壊過程へ の影響	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005 年 10 月 20 日
宮武 隆・木村 武志・安田 拓 美	強震動シミュレーションのための 滑り速度時間関数近似式:新潟 県中越地震への応用—その2	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005 年 10 月 20 日
Miyatake, T, T. Kikura, and T. Yasuda	Dynamic rupture process of the 2004 Mid Niigata prefecture earthquake	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005 年 12 月 8 日
鈴木 岳人・山下 輝夫	熱多孔質弾性体中における動 的地震破壊の成長と滑り過程	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会, 千葉	2005 年 5 月 25 日
Suzuki, T. and T. Yamashita	Thermo-hydraulic effects on anti-plane dynamic shear rupture in porous media	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005 年 12 月 8 日

内出崇彦・井出哲	マルチスケール震源モデルを用いた地震波形インバージョン法の開発	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会, 千葉	2005年5月25日
内出崇彦・井出哲	初期破壊過程の複雑性－2004年新潟県中越地震の場合－	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005年10月20日
呉長江・瀨瀬一起	2005年福岡県西方沖地震の震源時間関数の非線形インバージョン及びDc推定値への影響	日本地震学会秋期大会, 札幌	2005年10月20日
Yamada, T, J. J. Mori, S. Ide, H. Kawakata, Y. Iio, H. Ogasawara	Apparent stress and rupture speed of small earthquakes in a South African gold mine	AGU Chapman Conference, Portland MA (USA)	2005年6月14日
山田卓司・Mori James・井出哲・川方裕則・飯尾能久・小笠原宏	南アフリカ金鉱山内で起きた微小地震の見かけ応力と破壊伝播速度	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会, 千葉	2005年5月25日
Yamada, T, J. J. Mori, S. Ide, H. Kawakata, Y. Iio, H. Ogasawara	Apparent Stress and Rupture Speed of Small Earthquakes in a South African Gold Mine : Constraints on Fracture Energy	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月8日
Yasuda, T., Y. Yagi, T. Mikumo, T. Miyatake	A Comparison Between Dc'-values Obtained From a Dynamic Rupture Model and Waveform Inversion	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2005年12月8日

3.3.7

著者	題名	発表先	発表年月日
山田伸之, 山中浩明,	微動アレイ観測による首都圏の深部地盤構造	第2回地震防災シンポジウム「首都圏の地下構造と地震防災」, 物理探査学会, 29-34, 2006.	平成18年1月
山中浩明, 山田伸之, 江藤公信	関東平野のやや長周期地震動と深部地盤構造	海溝型巨大地震を考える－広帯域強震動も予測2－シンポジウム論文集, 27-31, 2006	平成18年3月

古村孝志	関東平野での長周期地震動の生成メカニズム	日本構造協会誌 JSSC No60, 2006	平成 18 年 4 月
古村孝志	観測とシミュレーションで見る、首都圏を襲う大地震の揺れ	物理探査学会第2回地震防災シンポジウム「首都圏の地下構造と地震防災」	平成 18 年 1 月
早川崇, 佐藤俊明	深度依存の速度勾配を考慮した関東平野の三次元速度構造のモデル化	2005年日本建築学会大会	平成17年9月

3.3.8

著者	題名	発表先	発表年月日
松岡昌志、若松加寿江、藤本一雄、翠川三郎	日本全国地形・地盤分類メッシュマップを利用した地盤の平均S波速度分布の推定	土木学会論文集, No.794/I-72, pp.239-251,	平成17年7月
松岡昌志、若松加寿江	地形・地盤分類250mメッシュマップによるVs30分布の推定	日本地震学会秋季大会講演予稿集, B053, p.81	平成17年10月
K. Wakamatsu and M. Matsuoka	Development of the 7.5-arc-second engineering geomorphologic classification database	Inter. Workshop on Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas, pp.123-126	平成17年10月
若松加寿江、松岡昌志	地形・地盤分類250mメッシュマップについて	日本地震工学会大会-2005 梗概集, pp.416-417	平成17年11月
松岡昌志、若松加寿江	地形・地盤分類250mメッシュマップを用いた地盤の平均S波速度分布の推定	日本地震工学会大会-2005 梗概集, pp.418-419	平成17年11月
松岡昌志、若松加寿江	首都圏の地形・地盤デジタルマップと表層地盤特性	第2回地震防災シンポジウム「首都圏の地下構造と地震防災」講演概要集, 物理探査学会, pp.35-43	平成18年1月
松岡昌志、若松加寿江、藤本一雄、翠川三郎	日本全国地形・地盤分類メッシュマップを利用した地盤の平均S波速度分布の推定	土木学会論文集 No.794/I-72, pp.239-251, 2005	平成 17 年 7 月
藤本一雄、翠川三郎	近接観測点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均S波速度の関係	日本地震工学会論文集 Vol.6, No.1, pp.11-22, 2006	平成 18 年 2 月
藤本一雄、翠川三郎	広域地震動マップ作成手法の高度化に関する検討	第 25 回日本自然災害学会 学術講演会	平成 18 年 11 月 13 日

			(予定)
久田嘉章	2004 年新潟県中越地震 ― 地盤と地震被害 ―	日本建築学会 第 32 回地盤震動シンポジウム	Jan 2005
K. Tsuda, Y. Hisada K. Koketsu	Estimation of Site Response for Kanto Plain by Use of the SK-net (Seismic-Kanto) Strong Motion Network	Bull. Seiem. Soc. Am.	(Submitting)
K. Tsuda, Y. Hisada, R. Archuleta	Estimation of Site Response at Kanto Area by use of the data from SK-net	日本地震学会 2005 年秋季大会予稿集	2005 年
久保智弘、 久田嘉章	東京都を対象とした表層地盤の地盤増幅特性に関する研究	日本建築学会大会	2005 年
船橋裕貴、 中井正一、 石田理永、 中川博人、 永田葉子	常時微動計測に基づく埋立地の地盤振動特性の把握	建築学会大会	平成 17 年 9 月 1 日～3 日

3.3.9

著者	題名	発表先	発表年月日
Takenaka,H., T.Nakamura, Y.Yamamoto, G.Toyokuni and H. Kawase	Precise location of the fault plane and the onset of the main rupture of the 2005 West Off Fukuoka Prefecture earthquake	Earth Planets and Space, 58(1), 75-80	2006
鷹野澄・伊藤 貴盛	建物用 IT 強震計システム	日本地震学会 2005 年秋季大会,C100	平成 17 年 10 月 21 日
鷹野澄・伊藤 貴盛	建物用 IT 強震計システムの開発	日本地震工学会・大会 2005	平成 17 年 11 月 22 日
鷹野澄・伊藤 貴盛	建物用 IT 強震計システムの開発と今後の展望	第 836 回地震研究所談話会	平成 18 年 2 月 24 日

3.3.10

著者	題名	発表先	発表年月日
----	----	-----	-------

馬場俊孝・伊藤亜紀・金田義行・早川俊彦・古村孝志	制御地震探査結果から構築した日本周辺海域下の3次元地震波速度構造モデル	日本地球惑星科学連合2006年大会	平成18年5月(予定)
--------------------------	-------------------------------------	-------------------	-------------

3.3.11

著者	題名	発表先	発表年月日
H. Miyake, K. Koketsu	Long-period ground motions from a large offshore earthquake: The case of the 2004 off the Kii peninsula earthquake, Japan	Earth, Planets and Space	平成17年3月
T. Hayakawa, T. Furumura, Y. Yamanaka	Simulation of strong ground motions caused by the 2004 off the Kii peninsula earthquakes	Earth, Planets and Space	平成17年3月
H. Sato, N. Hirata, K. Koketsu, D. Okaya, ほか9名	Earthquake source fault beneath Tokyo	Science	平成17年7月
瀬藤一起・三宅弘恵・大大特I研究グループ	プレート境界地震の震源モデル化と強震動評価	日本地震学会 2005年度秋季大会	平成17年10月
池上泰史・瀬藤一起・三宅弘恵	海溝型地震による長周期地震動(2):伝播経路での発達過程	日本地震学会 2005年度秋季大会	平成17年10月
小林励司・瀬藤一起	プレート境界形状を考慮した相模トラフ沿いのアスペリティモデル	日本地震学会 2005年度秋季大会	平成17年10月
古村孝志・三宅弘恵・瀬藤一起・須田茂幸・川崎慎治	小千谷市街地付近のP波・S波反射法探査と地下構造モデル構築	日本地震学会 2005年度秋季大会	平成17年10月
田中康久・池上泰史・小林励司・三宅弘恵・瀬藤一起	首都圏の強震動評価:1923年関東地震の地震動シミュレーション	日本地震学会 2005年度秋季大会	平成17年10月
Kobayashi, R.	Source Process of the 1923	2005 American	平成17年

and K. Koketsu	Kanto Earthquake Using New Fault Geometry and 3-D Green's Functions	Geophysical Union Fall Meeting	12月
Miyake, H., K. Koketsu, R. Kobayashi, Y. Tanaka and Y. Ikegami	Broadband Ground Motion Validation of the Great 1923 Kanto Earthquake Using the New Image of the Philippine Sea Slab and Integrated 3D Velocity-Structure Model	2005 American Geophysical Union Fall Meeting	平成 17 年 12月
Tanaka, Y., K. Koketsu, H. Miyake, T. Furumura, H. Sato, N. Hirata, H. Suzuki and T. Masuda	Integrated Modeling of 3D Velocity Structure Beneath the Tokyo Metropolitan Area	2005 American Geophysical Union Fall Meeting	平成 17 年 12月

3. 3. 12

3. 3. 12. 1

著者	題名	発表先	発表年月日
Nishigami, K.	Crustal heterogeneity in the source region of the 2004 Mid Niigata Prefecture earthquake: Inversion analysis of coda envelopes	Pure Appl. Geophys., Vol.163, No.2/3	平成 18 年 (印刷中)
西上 欽也, 儘 田豊	2004 年新潟県中越地震の震源域における不均質構造の推定—散乱波および断層トラップ波の解析—	京都大学防災研究所年報, 第 48 号 B, pp.133-142, 2005	平成 17 年 4 月
西上 欽也, 儘 田豊	2004 年新潟県中越地震の震源域の不均質構造: 散乱波と断層トラップ波の解析	地球惑星科学関連学会合同大会	平成 17 年 5 月 24 日
Nishigami, K.	Crustal Heterogeneity in the Source Region of the 2004 Mid Niigata Prefecture Earthquake: Inversion Analysis of Coda Envelopes	2005 AGU Fall Meeting	平成 17 年 12月 8 日

3.3.12.2

著者	題名	発表先	発表年月日
片尾浩, 飯尾能久	丹波山地における微小地震のメ カニズム解決と応力場の推定	日本地震学会秋季大会	平成 17 年 10 月
Ogasawara, T., Katao, H., and Iio, Y.	Determination of Focal Mechanisms of Microearthquakes and Estimation of the Stress Field in the Tanba Region, Central Japan	AGU, Fall Meeting	平成 17 年 12 月

3.3.12.3

著者	題名	発表先	発表年月日
廣瀬一聖, 伊 藤潔	人工地震探査による、近畿地方 中北部の地殻構造	地球惑星科学関連学会合 同大会	2005 年 5 月 26 日
Issei Hirose, Kiyoshi Ito	SPATIAL RELATIONSHIP BETWEEN CRUSTAL STRUCTURE AND SEISMIC ACTIVITY IN THE KINKI DISTRICT, SOUTHWESTERN JAPAN	IASPEI, Santiago, Chile	2005 年 11 月 1 日
Issei Hirose, Kiyoshi Ito	Spatial Relationship Between Crustal Structures and Seismic Activities	AGU fall meeting, San Francisco, USA	2005 年 12 月 8 日
中村佳重郎, 西村敬一, 駒 澤正夫, 赤松 純平	大阪府高槻市及び周辺地域の 3 次元重力基盤構造 —有馬・高槻 構造線との関係について—	平成 17 年度京都大学防 災研究所研究発表講演会	平成 18 年 2 月

3.3.13

3.3.13.1

著者	題名	発表先	発表年月日
柄賢太郎, 田 部井隆雄, 松 島健, 加藤輝 之, 宮崎真 一, 加藤佐代 正, 金山清一	稠密 GPS 観測による四国地方の 地殻変動場と中央構造線の運動 様式	日本地震学会 2005 年度秋 季大会、札幌市	平成 17 年 10 月 19 日

Tabei, T., Adachi, M., and Miyazaki, S.	Interseismic deformation of the Nankai subduction zone, southwest Japan inferred from three-dimensional crustal velocity field	Asia Oceania Geoscience Society 2nd Annual Meeting, Singapore	平成 17 年 6 月 22 日
Hashimoto, M., M. Hashizume, N. Choosakul, S. Takemoto, Y. Fukuda and K. Fujimori	Crustal deformations associated with the Sumatra earthquake on December 26, 2004 derived from continuous GPS measurements	Asia Oceania Geoscience Society 2nd Annual Meeting, Singapore ,SE32/3A-01- 6/202	2005 年 6 月 22 日
Hashimoto, M., N. Choosakul, M. Hashizume, S. Takemoto, H. Takiguchi, Y. Fukuda and K. Fujimori	Crustal Deformations Associated With the Great Sumatra-Andaman Earthquake Deduced From Continuous GPS Observations	APRU/AEARU Research Symposium on “Earthquake Hazards around the Pacific Rim”, Kyoto	2005 年 8 月 31 日
橋本学, N. Choosakul, 橋 爪道郎, 竹本 修三, 瀧口博 士, 福田洋一, 藤森邦夫	GPS 連続観測で得られたスマ トラ地震に伴う地殻変動	日本地震学会 2005 年度 秋季大会 (札幌市)	2005 年 10 月 21 日
Hashimoto, M., N. Choosakul, M. Hashizume, S. Takemoto, H. Takiguchi, Y. Fukuda, K. Fujimori	A geodetic fault model for the 2004 Sumatra-Andaman earthquake derived from CGPS data	2nd International Workshop Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas (東京都)	2005 年 10 月 25 日

橋本学, N. Choosakul, 橋 爪道郎, 竹本 修三, 瀧口博 士, 福田洋一, 藤森邦夫	GPS 連続観測で得られたスマトラ地震に伴う地殻変動	日本測地学会第 104 講演会 (京都市)	2005 年 10 月 27 日
Hashimoto, M., N. Choosakul, M. Hashizume, S. Takemoto, H. Takiguchi, Y. Fukuda, K. Fujimori	Crustal Deformations Associated With the Great Sumatra-Andaman Earthquake Deduced From Continuous GPS Observation	Eos Trans. AGU, 86(52), Fall Meet. Suppl., Abstract, U21C-02	2005 年 12 月 6 日
橋本学, 橋爪 道郎, N. Choosakul, 竹 本修三, 瀧口 博士, 福田洋 一, 藤森邦夫	東南アジアにおけるスマトラ地震の余効変動	平成 17 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 (京都市)	2006 年 2 月 22 日
Hashimoto, M , N. Choosakul, M. Hashizume, S. Takemoto, H. Takiguchi, Y. Fukuda, and K. Fujimori	Crustal deformations associated with the great Sumatra-Andaman earthquake deduced from continuous GPS observation	Earth, Planets and Space, Vol.58, 127-139, 2006	2006 年 2 月

3. 3. 13. 2

著者	題名	発表先	発表年月日
Mitsui, N., and Hirahara, K.	Slow slip events controlled by the slab dip and its lateral change along a trench	Earth Planet. Sci. Lett.	平成 18 年 掲載決定
光井能麻, 平原 和朗	プレートの形状に支配されるスロースリップイベント	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会 S044-004	平成 17 年 5 月 23 日

平原和朗,光井能麻	プレートの形状と境界面の摩擦則に支配される南海トラフ地震発生サイクル	日本地震学会予稿集、2005年度秋季大会、C053	平成17年 10月20日
光井能麻,堀高峰,平原和朗	三角要素モデルによるプレート境界面の形状を考慮した地震発生サイクルの検証	日本地震学会予稿集、2005年度秋季大会 P120	平成17年 10月20日
飯尾能久	兵庫県南部地震前の地殻活動と非弾性変形モデル	日本地震学会秋季大会	平成17年 10月19日
小林知勝, 橋本学	GEONET データより推定される1996年から2004年までの近畿地方の歪速度場の変化	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会	2005年 5月22日
Tomokazu Kobayashi, Manabu Hashimoto	Change of strain rate in the Kinki and Tokai districts induced by the Tokai slow slip event	Association of Pacific Rim Universities (APRU) / Association of East Asian Research Universities (AEARU)	2005年 8月31日
小林知勝, 橋本学	東海スロースリップイベントを原因とする東海・近畿地方の歪速度変化	2005年日本地震学会	2005年 10月19日
田中俊行, 工藤健	重力データを用いた大陸ダイナミクス研究の現状	月刊地球, 804-807	平成17年 10月1日
古本宗充	本震と最大余震のマグニチュード差と地殻熱流量	地震, 58, 221-224	平成17年 12月25日
本多亮, 平松良浩, 古本宗充, 河野芳輝	重力異常の水平勾配と歪み集中帯の関係	地震, 58, 371-373.	平成17年 12月25日
Tanaka, T., Salden, W., Asai, Y., Fujita, Y., Aoki, H.	Variations of absolute gravity accompanying earthquake-induced changes in subsurface pore water pressure at the Mizunami Underground Research Institute construction site, central Japan	Geochem. Geophys. Geosyst., In press	平成18年 3月

Shichi, R, Yamamoto, A., Kudo, T. (他 15名)	A Gravity Database of Southwest Japan: Application to Bouguer Gravity, Imaging in Kyushu District, Southwest Japan.	in A Window on the Future of Geodesy, Vol.128 of International Association of Geodesy Symposia, ed. F. Sanso, Springer-Verlag, Berlin Heidelberg, 236-241.	平成 17 年
--	---	--	---------

3. 3. 14

3. 3. 14. 1

著者	題名	発表先	発表年月日
T. Iwata	Source inversion of recent destructive earthquakes and characterized source model	2 nd International Symposium on Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas	2005 年 10 月
Zhang, W., T. Iwata, and K. Irikura	Dynamic Simulation of a Dipping Fault Using a 3D Finite Difference Method with Nonuniform Grid Spacing	Journal of Geophysical Research	2006 年 3 月
内田浩二, 亀伸樹	Effect of crack coalescence on dynamic source-parameter estimation	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会	平成 17 年 5 月 23 日
亀伸樹, 小国健二	不均質媒質中の地震破壊のシミュレーションー破壊現象の解析に適した有限要素法 FEM- β を用いてー	日本地震学会 2005 年度 秋季大会	平成 17 年 10 月 20 日
Nobuki Kame and Kenji Oguni	Quasi-statically self-chosen faulting path modeling in heterogeneous medium: FEM-beta approach	American Geophysical Union 2005 Fall Meeting	平成 17 年 12 月 8 日
笹谷努, 森川信之, 前田宜浩	スラブ内地震の震源特性	北海道大学地球物理学研究報告, No. 69, pp.123-134.	2006 年 3 月

笹谷努, 森川信之, 前田宜浩	スラブ内地震による強震動の予測	日本地震工学会大会－ 2005 梗概集, 304-305.	2005 年 11 月
Miyazawa, M., Mori, J., Iio, Y., others	Triggering Sequence of Large Aftershocks of the Mid Niigata prefecture, Japan Earthquake in 2004 by Static Stress Changes	Earth Planets Space, 57, 1109-1113 , 2005	2005 年 11 月
Park, S., Mori J.	Source Parameters of the May 29, 2004 South Korea earthquake (ML5.2)	Earth Planets Space, 57, 471-475, 2005	2005 年 6 月
Park, S., Mori J.	2004 Sequence of Triggered Earthquakes Off the Kii Peninsula, Japan	Earth Planets Space, 57, 315-320 , 2005	2005 年 4 月
Mori, J.	Temperature Measurements and Earthquake Heat	Assoc. of Pacific Rim Universities Research Symposium - Earthquake Hazards around the Pacific Rim - Prediction and Disaster Prevention, P. 32.	2005 年 8 月 31 日 - 9 月 2 日
Mori, J., Ito, H., Fujio, R., Kano, Y., Ma., K.-F.	Temperature Measurements in the Taiwan Chelungpu-Fault Drilling Project	Asia Oceania Geosciences Society, SE15/2A-02-2	2005 年 6 月 20-24 日
Mori, J., Tanaka, H.	Energy Budget of the Chi-Chi, Taiwan Earthquake	AGU Chapman Conference on Radiated Energy and the Physics of Earthquake Faulting, Portland, Maine, P. 47.	2005 年 6 月 13-17 日
Mori, J.	Estimates of Slip-Weakening Distance from Near-field Seismograms	日本地震学 2005 年度 秋季大会, C041	2005 年 10 月 20 日
Hiroshi Kawase	Site effects derived from spectral inversion method for K-NET, KiK-net, and JMA strong-motion network with special reference to soil nonlinearity in high PGA	大都市大地震特別プロジ ェクト国際シンポジウ ム, 東京大学地震研究所	平成 17 年 10 月 24 日

	records		
川瀬博	福岡県西方沖地震で観測された震度計データとその構造物破壊能	日本地震工学会大会 2005 梗概集	平成 17 年 11 月 20 日

3.3.14.2

著者	題名	発表先	発表年月日
岩田知孝, ペトヒンアナトリ, 香川敬生	強震動シミュレーションのための近畿圏地盤・地殻構造モデルの構築	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 16 日
Iwata, T., A. Petukhin, T. Kagawa	Basin and Crustal structure model of Kinki area for strong motion prediction	International Symposium on ESG	2006 年 8 月 30 日 (予定)
川辺秀憲 釜江克宏	2004 年 紀伊半島南東沖地震の強震動シミュレーション	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会	平成 17 年 5 月 22 日
川辺秀憲 釜江克宏	2004 年 9 月 5 日 紀伊半島南東沖の地震の強震動シミュレーション	2005 年度日本建築学会大会 (近畿) 学術講演会	平成 17 年 9 月 1 日
Hidenori KAWABE, Katsuhiko KAMAE	Estimation of Q Value for Long Period Ground Motion Simulation in Osaka Basin, Japan	大大特 (大都市大震災軽減化特別プロジェクト) I 第 2 回国際ワークショップ 「Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas」	平成 17 年 10 月 27 日
釜江克宏 川辺秀憲	南海地震による近畿圏の強震動予測	第 33 回地盤震動シンポジウム (2005)	平成 17 年 11 月 18 日
Hidenori KAWABE, Katsuhiko KAMAE	Long Period Ground Motion Prediction Of Linked Tonankai And Nankai Subduction Earthquakes Using 3D Finite Difference Method	2005 American Geophysical Union Fall Meeting, San Francisco, USA.	平成 17 年 12 月 6 日

4. 2. 2 新聞発表等

日付	新聞等の名称	タイトル	関係者
平成 17 年 4 月 25 日	産経新聞	関東平野の長周期地震動 7 秒の波揺れる超高層ビル	古村孝志
平成 17 年 6 月 6 日	朝日新聞	動く大地 揺れを予測する 「震災の帯」探る強震計	古村孝志
平成 17 年 7 月 14 日	日本経済新聞	「東海」「東南海」地震の 同時発生 超高層ビル揺れ 3メートルも	古村孝志
平成 17 年 7 月 14 日	NATIONAL GEOGRAPHIC NEWS	Earthquake Fault Under Tokyo Closer Than Expected Study Finds	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	Forewtry-suppliers	Tokyo Fault Could Produce 'Intense Shasking'	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	SiliconValley	Fault may be more dangerous than thought	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	nature	Tokyo's fault line just below the surface	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	Associated Press	Fault May Be More Dangerous Than Thought	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	Bloomberg	Quake Study Find Tokyo More Vulnerable Than Scientists Thought	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 14 日	CNN	Tokyo Fault could produce 'intense shaking'	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	産経新聞	推定より最大 23 キロ浅 く 予測精度向上に期待	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	日本経済新聞	首都圏の震源断層、推定 より浅い 被害拡大の恐れ	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	朝日新聞	地震起こす首都圏地下プ レート「境界の深さは推 所	東京大学地震研究 所

		定より浅い」	
平成 17 年 7 月 15 日	東京新聞	首都圏直下フィリピン海プレート 最大 18 キロ浅かった	平田 直・瀬戸一 起
平成 17 年 7 月 15 日	毎日新聞	関東の揺れ 予想より大きく	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	読売新聞	横須賀直下に固着域	
平成 17 年 7 月 15 日	日刊工業新聞	首都圏直下の震源断層 推定より 17Km浅く存在	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	共同通信	浅かった首都圏下の震源断層 地震被害も拡大の可能性	佐藤比呂志
平成 17 年 8 月 1 日	日本経済新聞	明治の地震, 震源を特定 東京湾北部, 深さ 50 キロ 明治東京地震	古村孝志
平成 17 年 8 月 5 日	朝日新聞	千葉震源の先月の地震 「明治東京」と類似	古村孝志
平成 17 年 8 月 9 日	東京新聞	「地震のツボ」を探せ ちよいと揺らせばピタリとわかる?	佐藤比呂志
平成 17 年 8 月 19 日	朝日新聞	6 分以上揺れた都心 宮城沖の地震画像化 宮城南部地震	古村孝志
平成 17 年 8 月 29 日	日本経済新聞	変わる備え 揺れ続ける 首都「もろい東京」に現実味	古村孝志
平成 17 年 8 月 30 日	朝日新聞	首都圏のプレート新説も 反射法で広範囲解析	東京大学地震研究所
平成 17 年 9 月 1 日	朝日新聞	関東大震災 新説「死者・不明者 10 万 5000 人」 理科年表に 関東大震災	瀬戸一 起
平成 17 年 9 月 8 日	毎日新聞	備える大地震 震度 0 でも被害発生	瀬戸一 起
平成 17 年 10 月 20 日	東京新聞	沿岸などで揺れ増幅 自治体ごとに作成を	瀬戸一 起
平成 17 年 10 月 21 日	日本経済新聞	関東大震災揺れ伝わる様子再現 地震計の記録使用 関東大震災	瀬戸一 起
平成 17 年 10 月 21 日	東京新聞	首都圏のむ揺れの渦 関	瀬戸一 起

日		東大震災を画像で再現 関東大震災	
平成 17 年 10 月 22 日	日本経済新聞	「明治の大地震」現代技術で解析	古村孝志
平成 17 年 11 月 9 日	日刊工業新聞	小田原ー山梨測線の地殻構造探査 東大地震研が あすから	東京大学地震研究所
平成 17 年 11 月 15 日	読売新聞	フィリピン海プレート 南関東の地下構造解明へ	東京大学地震研究所
平成 17 年 11 月 19 日	読売新聞	長周期地震動が弱まらず 伝わる	古村孝志
平成 17 年 11 月 22 日	東京新聞	富士山周辺地震なぜ少ない？ 地下構造の探査開始	藤井敏嗣・佐藤比呂志
平成 17 年 11 月 22 日	中日新聞	富士山周辺地震なぜ少ない？ 地下構造の探査開始	藤井敏嗣・佐藤比呂志
平成 17 年 12 月 6 日	朝日新聞 和歌山	地震ふまえたまちづくりを	平田 直
平成 18 年 1 月 25 日	神奈川新聞	小田原温地研と東大地震研の講演会 予知や活断層で見解	加藤照之・佐藤比呂志・工藤一嘉
平成 18 年 1 月 30 日	産経新聞	安政江戸地震に学ぶ「首都直下」への備え M7 超, 浅い震源の可能性	古村孝志
平成 17 年 10 月 19 日	毎日新聞	東南海・南海地震起こすプレート、定説より 10 キロ浅く、北限、丹波山地まで	伊藤 潔

雑誌

日付	雑誌等の名称	タイトル	関係者
平成 17 年 8 月 30 日号	エコノミスト	学者が斬る東京の地震リスクは世界最高	佐藤比呂志
平成 17 年 9 月 1 日号	週刊新潮	関東平野で「長い揺れ」が増えたワケ	古村孝志
平成 17 年 9 月	Geotimes	News Notes: (Seismology) Repositioning Tokyo's	佐藤比呂志

		fault	
平成 17 年 10 月号	NEWTON	震度 6 弱以上でゆれる可能性が高いのは？	阿部勝征・佐藤比呂志
平成 17 年 11 月号	子供の科学	地震だ！ビルは安全？都市はだいじょうぶ？	古村孝志
平成 18 年 1 月号	NEWTON	首都直撃の東京大地震 カウントダウンはすでに始まっているのか？	阿部勝征・平田直

その他（ニュースなど）

テレビ報道

日付	時刻	番組名	内容	関係者
平成 17 年 7 月 15 日	4:34～4:35 5:06～5:07	フジテレビ 「めざにゅー」	「首都圏直下型地震」調査 結果発表	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	5:40～5:42 6:02～6:04 6:35～6:36	フジテレビ 「めざましテ レビ」	首都圏直下の断層「浅か った」	佐藤比呂志
平成 17 年 7 月 15 日	17:40 ～ 17:45	フジテレビ 「スーパーニ ュース」	首都圏直下地震が起きた ら「想定より浅い震源」	佐藤比呂志
平成 17 年 9 月 1 日	19:30 ～ 20:45	N H K スペシ ヤル	超巨大地震が日本を襲う ～連動する東海・東南 海・南海～	都司嘉宣・古村 孝志・村松敏哉
平成 17 年 10 月 15 日	19:00 ～ 19:45	N H K「サイエ ンス ZERO」	巨大構造物を襲う謎の長 周期地震動	古村孝志
平成 17 年 11 月 11 日	18:48 ～ 18:50	N H K「首都圏 ネットワーク」	直下型地震のメカニズム 探る調査	佐藤比呂志
平成 17 年 11 月 11 日	22:55 ～ 22:57	N H K ニュー ス（22 時代）	直下型地震のメカニズム 探る調査	佐藤比呂志
平成 17 年 11 月 11 日	7:52～7:55	N H K ニュース おはよう日本	大地震発生のメカニズム を探れ	佐藤比呂志
平成 17 年 12 月 9 日	19:00 ～ 21:00	T B S テレビ スーパーフラ イデー	巨大地震が日本を襲う日 ～あなたの街はこうなる ～	都司嘉宣・古村 孝志
平成 17 年 12 月 10 日	19:00 ～ 19:45	N H K「サイエ ンス ZERO」	ZERO スペシャル地震災 害の脅威に迫る	古村孝志